



### 未体験の領域

広島支部長 出口昌孝

シャープ社友会  
広島支部会報  
ひびき 第19号  
発行人 出口 昌孝

1面	春夏秋冬	主要記事
2～3面	定期総会報告特集	
4～5面	HOW DO YOU DO	
6面	春の旅行ア・ラ・カ・ル・ト	
7面	フィリッピン人に接してII	
8面	社友短信	

社友会広島支部も、設立八回目の定期総会を終え設立以来、支部発展に中心的に寄与された前任支部長を含む四名の交替による、新体制のもとに新年度を迎えました。

当支部はなお、発展拡充の段階にあり、健康上の条件をも側面的な理由として、交替のやむなきに至りました。そんなわけで、その器ではないと思いますが、先輩の社友会への思いを踏襲し、微力を尽くしたいと存じます。

\* \* \* \* \*

生物の一生は、発育期・成熟期・全盛期・衰退期と経過していくのが一般的です。

しかし、私たちは現役時代に、発育・成長の時期を過ごし、我武者羅にそしてそれなりの希望を抱き、企業組織の砦の中で得た体験を肥やしとして全盛期を終えたと思えます。

それでは、退職後の現在を衰退期とするなら、如何に健康な余生を意義あるものにするのでしょいか。会員の皆さんはどのようにお過ごしでしょうか。

会員の皆さんの、健康状態は時々通院、を含め90%の方がお元気です。その内、20%

方々が再就職または自営業でなお現役にとどまっております。大半の方々が、自分なりに趣味を活かした好きな事柄をされています。

一方、最近急に体力が、腰痛が、視力が、氣力が、等等健康不安の話題や生活面での煩雑な対応に懸念の話題もあります。肉親の介護問題は深刻ですし、親兄弟の高齢化に付随する必然であっても避けて通れない問題でもあります。

そのほか、年金・確定申告や税金、介護保険を含む生命・損害保険への対応など、今後その未体験の領域が、狭まることはないように思えます。

そこで、社友会としては「こんなとき」をテーマに、先輩会員の体験を交えて情報交流の機会を設定したり、同じ趣味の会員の集まりである同好会活動の活性化と新同好会の発足も歓迎しています。同じ目的で集まることのできる方々が心身の健康と親睦を図れる場でもあります。

また、行事として定期総会と懇親会・春秋の旅行・新春の新年会など新企画を織り込む年間

行事があり、これらの内容と会員相互を結ぶパイプ役の支部会報「ひびき」も発行されています。その他、週三日（月水金）は当番制で社友会事務室で、会員の来室や電話での諸連絡、会員情報の交換などの対応ができるようになっていきます。

\* \* \* \* \*

私も、社友会に入会して五年が過ぎましたがその内三年は、先輩役員の方々にご指導いただきながら社友会活動に参画してまいりました。その中で体験させていただいた事柄は、私なりに思いを強くさせてきています。どうか今後も、社友会広島支部の活動強化にご支援ご協力をお願い申し上げます。

## お知らせ

### ■会社 総務部への入室について

セキュリティ対策実施のため、会社製品購入・代金支払など、総務部訪問には手続きが必要になりました。

- 会社正門 保安担当に総務部訪問を申告
- 保安担当より GEST CARD を受領
- 総務部区画入口をCARDで解錠・入室
- 退門にあたって CARD を保安担当に返却

# 平成13年度 支部定期総会報告特集

平成13年度の広島支部定期総会は、去る5月18日（金）に会員37名の出席の下に開催されました。例年どおり、広島独自の紅葉会についても今年度は第七回総会を行い、昼食懇親会を合同で行っています。議事は、提案どおり全件ご承認をいただき、新年度がスタートしました。同好会活動のさらなる活性化や緊急連絡網の構築など新規軸の内容も有り、役員四名の交替による新体制になりました。

## □新役員態勢

支部長 出口昌孝さん  
 副支部長 吉岡秀卓さん  
 代表幹事 相馬實さん  
 総務担当幹事 西尾弘さん  
 会計担当幹事 松浦義弘さん  
 広報担当幹事 車角裕規さん  
 企画担当幹事 大久保進也さん  
 同好会担当幹事 佐々木和治さん  
 細井博文さん  
 濱川康さん  
 河上國男さん  
 吉久青春さん  
 会計監査

なお今年、退任された前任役員  
 の皆さんは次の通りです。

山田 順さん（支部長）  
 新田 保さん（代表幹事）  
 石井 叶さん（会計担当幹事）  
 島田博之さん（広報担当幹事）

## □緊急連絡体制の構築

弔意事案が発生した場合を前提

に会員諸兄への連絡体制を決定。

副支部長及び会計監査を含む幹  
 事十一名全員が、会員数名をそ  
 ぞれ担当し、連絡する。

また、会員からの弔意事案の連  
 絡は、担当幹事を經由して支部  
 長・本部へ連絡される。

そのため、会員の皆さんには自  
 分に連絡を呉れる幹事は誰なのか  
 確認を頂きたい。

## □嵐定明さんが今年古稀に

今年度中に、嵐定明さんが古稀  
 を迎えられる。誕生日が十一月な  
 ので、その時期に社友会として記  
 念品を贈呈します。

## □同好会活動

新たに、グラウンドゴルフ同好  
 会が発足する。既存の同好会に趣  
 味が一致しないとか、新たなチャ  
 レンジのため同好のメンバーを集  
 めたいとか、新規同好会の発足は

大いに歓迎。ちなみに、本部及び  
 各支部の現同好会は過日配布の  
 「会員名簿」96Pを参照。

## □秋季旅行

例年の予定から見ると、ご案内  
 は九月、実施は十一月初旬になり  
 そう。ひびき第20号（十月発  
 行）では、ガイドランスを掲載しま  
 す。

紅葉会総会に出席のみなさん



社友会広島支部総会に出席の皆さ  
 ん。後列右から6人目が、吉田九  
 州分会副会長。



□新役員

総務担当幹事

西尾 弘さん



広報担当幹事

大久保 進也さん



同好会担当幹事

河上 國男さん



会計監査  
吉久 清春さん



□合同昼食懇親会

総会が終り、紅葉会との合同の懇親会は、前年度新入会の 三島博美さんによる乾杯音頭で始まり  
ました。

昨年度総会以降の、新入会者の紹介、新役員の挨拶、退任役員挨拶



追悼 島田 博之さん (会員No.666)



島田博之さんが、去る五月六日22時14分、六十六才の若さで亡くなりました。

平成六年十一月定年とともに  
シャープ社友会に入会。  
平成八年五月、広報担当として  
広島支部役員を担当。  
本年の総会で役員退任を予定

するも、総会には出席できませ  
んでした。

島田さんが、初めて担当した  
支部会報「ひびき第六号」に  
H・Sのイニシャルで『熟年の  
誤算』と題して、定年後の計算  
違いを記されています。

その中で、自らの健康問題に  
触れて、手術やその後の経過な  
どや体調を記されています。

ひよっとしたら、遠因の一つ  
かもしれない。謹んでご冥福  
をお祈りします。

今年もあります

サマーフェスティバル2001

と き 8月4日(土) 午後5時30分～午後9時

雨天中止

ところ 第3工場グラウンド

みもの・ききもの・たべもの

ステージイベントてんこもり  
夜店いろいろ 花火大会  
ラッキープレゼント

撥、秋の旅の構想、海外旅行の  
斡旋案など織り交ぜ、懇親をはか  
りました。

釣り

30 cm クラスが混じって  
美味を堪能しました

いつもの倉橋町重生港に着いたら、船頭さんは既に出港の準備を終わっていた。

ようやく空が明るくなり始めた午前5時、出港。

今日の本命は『メバル』で、かなりのサイズが混じるらしい。

釣果を先に言えば、数は「ほご」の方が多かったが30 cm近くの「本メバル」がかなり挙がって噂は証明された。  
何度かポイントを変えたものの



釣行 5月12日(土)  
食事 白身魚の炊込み飯  
釣餌 活いかなご  
参加 8名  
納竿 正午



昼を過ぎたら釣れなくなるという、船頭に尻を叩かれ今回は本当に熱中した。



グラウンドゴルフ同好会

七月八日発足会合  
第1回のゲームも

七番目の同好会である、グラウンドゴルフ同好会が発足準備をすすめています。

同好会推進リーダーには、準備を担当している、河上國男さんが引き続き担当する予定です。

発足会合は、7月8日(日)午前10時、第3工場グラウンドに集合して行います。

例会日や、運営の方針など必要な事項は当日決められる予定です。

ボーリング

恒例第十四回大会

一般参加の『坂本さん』が優勝

恒例の第十四回ボーリング大会は、二十名(社友会20名・会員夫人2名・一般3名)の参加を得て五月十九日賀茂ボールで開催しました。

今回の初参加者は、社友会新人の小西さん、一般参加の坂本さんの二人。過去三回の優勝を誇る車角さんは、今回も不参加。  
第1ゲーム終了時点でのトップ

は坂本さん(一般)。2位に土屋さん、3位が細井さん(いずれも社友会員)で、トップと3位の得点差が28点と、坂本さんが大きくリード。前回優勝の相馬さんは、マイナスハンデいのプレッシャーもあつてか奮わず。

そして、第2ゲーム終了後の総合結果は次の通り、坂本さんが逃げ切り、初優勝となりました。

お断わり

紙面の都合で、パソコン及び囲碁将棋の同好会報告は割愛させていただきました。



- ◇優勝 坂本みき枝 三八一点
  - ◇準優勝 出口 昌孝 三五九点
  - ◇第三位 濱川 康 三五五点
  - ◇HG賞 山口 春香 二〇六点
  - 坂本みき枝 二〇四点
- 注 得点はハンデキヤップを含む

なお、次回の第十五回大会は九月二十二日(日)を予定しています。



ゴルフ

平成十三年度 第1～第3戦の成績

特訓の成果!?! 平均ストローク13～20向上

平成十三年度開幕第1戦・第39回コンペは、3月のオープン戦の成果もあって、レベルの高い内容でした。新年度でのハンデイ改定の影響も加わり、優勝は-9と、日頃の実戦訓練のもとに、より高い

目標に挑戦した結果でしよう。第40回コンペは、真夏を思わせる天候から一転して前夜らしいの雨が降った、実力が問われるコンディションの中で戦われました。優勝者は、昨年来実力を蓄えオープン戦に続く隔月アンダーをマーク。今後が楽しみになりました。



また、参加者全員のレベルアップもあって、上下差が縮じまったのも嬉しいことです。第41回コンペは、天気予報に裏切られ午後後は晴天のつもりが、最終ホールまで土砂降りの中でプレイしました。

平成13年度 第1戦～第3戦の成績

順位	第39回コンペ 4/20 賀茂CC		第40回コンペ 5/22 広島国際CC		第41回コンペ 6/25 安芸CC	
	参加者	par	参加者	par	参加者	par
1	小林	-9	杉山	-5	明石	-9
2	増本	-8	河上	-5	増本	-8
3	嵐	-3	山口(孝)	-2	小林	-3
4	広瀬	-3	嵐	0	竜角	-1
5	山口(剛)	0	出口	0	徳永(文)	0
6	植木	0	山口	+1	山内	+1
7	山口(孝)	0	山内	+2	出口	+1
8	山内	+1	山本(善)	+2	山口	+2
9	出口	+1	西尾	+2	山本(善)	+2
10	杉山	+1	明石	+4	吉久	+3
11	竜角	+1	山本	+5	鈴木	+5
12	河上	+1	相馬	+5	小谷	+5
13	山本(昭)	+3	井上	+12	河上	+6
14	大和	+4	松本	+13	山本	+7
15	片桐	+5	徳永	+14	佐々木	+7
16	徳永(文)	+7	徳永(善)	+15	岩永	+8
17	相馬	+8	吉久	+15	山口(孝)	+8
18	山本(博)	+9	-	-	杉山	+9
19	西尾	+11	-	-	徳永	+10
20	岩永	+12	-	-	嵐	+12
21	吉久	+13	-	-	相馬	+12
22	山本(善)	+15	-	-	片山	+15
23	佐々木	+19	-	-	西尾	+15
24	徳永(善)	+20	-	-	-	-
ニアピン	増本・大和		明石・出口		徳永(文)・小林	

写真上 第39回優勝・小林(中)  
2位・増本(右) 3位・嵐(左)  
写真下 第41回優勝・明石(中)  
2位・増本(左) 3位・小林(右)

ウォーキング

あるこう会 月例会報告

優勝は-9を確保し、四位までアンダーマークでした。しかも、平均ストロークでは、13～20の向上があり、自主的特訓の成果なのでしょう。益々、目が離せない戦いが続く気配があります。

四月二十九日、この日恒例となった『東広島市の史跡・文化財を見て歩く会』に参加し、約12kmを歩きました。今年、数えて十七回になるそうです。この模様は、五月三日の広島TV「ハイ東広島」で放映されましたから、詳しくは省略します。

五月度1回目は、会員提案で「白滝山(標高340m)～黒滝山(標高270m)」。

白滝山の龍泉寺は、磨崖佛が有名です。山頂周辺の巨岩に刻まれたこれらの磨崖佛は、一見の価値があります。また、龍泉寺には近くまで林道が続いており、お寺までは地藏尊と道標が一体で設置されています。

黒滝山は、瀬戸内海国立公園の特別地域に指定されているので山頂近くには、僧行基の創建と伝えられる観音堂があります。その観音堂には、鎌倉時代の作

7～8月の予定

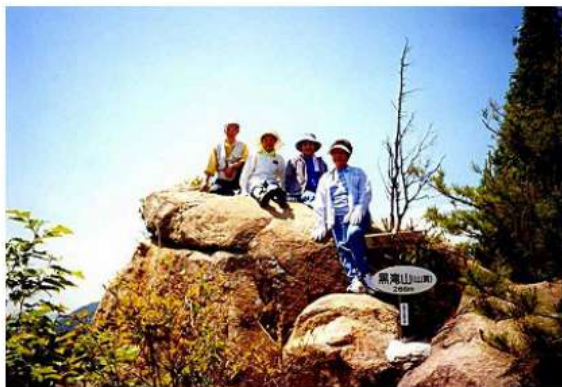
- 7月 第42回コンペ
- 24日(火) 賀茂CC
- 8月 第43回コンペ
- 27日(月) 安芸CC

という、十一面観音像が安置されています。

黒滝山からの眺望は、足下の忠海の街並みから、遙か四国山系の石鎚山も望めるが、この日は黄砂にかすんでいました。

なお、黒滝山では山頂近くに鎖場があり、危険を回避して迂回路を登りました。

五月2回目の定例会は、地元コースの三つ城古墳から広大南端までの往復する「西条コースII」を歩きました。



5月定例会 黒滝山 山頂にて

# 桜満開 爛漫の伊予路へ

紅葉会企画 社友会合同旅行 平成13年4月7日



◇しまなみ海道の入口、尾道あたりではピンクのかたまりの桃が満開でした。道すがら、車窓から見える景色は、どちらを見ても満開の桜でした。

中でも、奥道後に向かう途中の、国道317号線を見た、湖畔をめぐる桜の帯は見事でした。車内から感嘆の声が上がった、途中下車を望む意見も少なくありませんでした。

◇桜と同じく、車窓から見えて驚いたのが、芸予地震の痕跡でした。

帰途について、フェリーに乗るまで青いシートで覆われた屋根や、ずれ落ちた瓦のままの姿を残す屋根などが、見え隠れしていました。

◇昼食は、奥道後ホテルでのバイキングでした。どうも、見た感じではお願いした旅行社専用の会場のような感じでした。

メニューは豊富でしたが、無国籍でなんだかみんな、同じ味に感じました。

◇満腹になったところで、休憩もせず温泉へ。

新しく作られたという、露天風呂へ一直線。向かいには峡谷で谷川が流れています。山頂へ駆け上がる斜面は、山桜で覆われています。湯上りに、心地よいそよ風にあたっていると、桜も同じく花びらを風に舞わせていました。

少々高めの温度の湯でしたが、至福のひとつと感ずきました。

桜花舞い 湯にも浮かべや 露天の湯



食事はバイキング。美味しかったとの評価が多かったが、桜の下でお弁当を、のご意見も。



風呂から見えた、向かいの斜面に咲く山桜の群落。風に舞う花吹雪もお見せできないのが残念。

◇伊予松山城へ。

ケーブルカーかリフトで城山へ。速度はちがうものの、リフトの方が壮快に見えて、希望者数ではリフトの勝ち。

天守閣まえの広場も満開で、お城を背景にした記念写真が、上の一枚。

帰途は、ゆっくりしようよ、とフェリーを選択し波方竹原の2時間は、船内客室で、楽しくすごしました。





# フィリピン人と接して

(あれこれその二)

吉久 清春さん (No.1389)

フィリピン人の日々の生活は、子供1人のお弁当代が約10ペソ/日(1ペソ=約2.5円)、交通費が約10ペソと月平均400ペソはかかるそうです。

公立の学校の授業料は無料ですが、文房具等の出費に子供1人で年間の教育費が3千ペソ程掛り、年間8~10千ペソ掛かります。

S P Cの技術メンバーの昼食費は40~60ペソ、日本食は180~220ペソ掛かります。日本食は中華系の人々も良く食べに来ますが、昼食代を見ても相当な差がありません。

この仕事を通して、日本人とフィリピン人との違いをまざまざと見せられました。生活レベルの違い、習慣の違い、風土の違いからなぜこんな事が解からないのか、問題にならないのか色々考えさせられる事がありました。それを紹介します。

・フィリピン人は非常に真面目で従順である。フィリピン人同士喧嘩する時は、罵詈雑言を発するが普段は非常に丁寧で、他人の気持ちを気遣う面が強い。やたらにサー、ママ、ボスなどと相手を立てるのも、人間関係を良好に保ちたいと思っている現われである。

また、デリケートな面を持っており、人前で頭ごなしに叱りつけたりすれば、本人は面目を完全に失い恥をかく事になる。叱る時は1対1とするのが効果的である。

・フィリピン人は家族や親戚、友人のように仲間と協調することが強く、その中の誰かが困る事は共同で助け合う精神が非常に強い。

品質活動でも顧客の為に良い商品を出そうと言う発想よりも“貴方の叔母さんが出来の悪い商品を買わされたらどう思うか”と身近な人を対象にした方が理解されやすい。

・貧富の差は非常に大きい。金持ちは過去植民地政策の時代にうまく勝ち馬に乗った人、地主、権力者グループ、経済界大物、等である。

・過去、何時も彼らの周りには強い指導者が居りその指示に従って仕事をすれば良かった。親分肌のボスは慕われる。責任は取らない。従って指示待ち者が非常に多い様に思う。

今まで良く仕事をした人をメンバーのチーフにした所、突然仕事をしなくなった。上長になると仕事をしないのが特徴らしい。困った人達である。

・フィリピンは亜熱帯にあって1年中暑い日が多い為、生活習慣の中で先を読むと言う考えは無いらしい。日本のように四季があり、夏から秋になると冬の寒さの為に何を準備するかと考えるがその必要も無い(年中暑い26~35℃)。

したがって、この国では何事も先を読んで行動する習慣は必要がない。その場良ければ全て良しと言う考えで

動いている。

この様な人達に日程表の立案、先を見た会議スケジュールを立てさせたが、彼らにはどのように思えたか・・・? 転ばぬ先の杖の積もりが予定通りにならなかった。彼らの目には無駄に見えたかもしれない。

我々はその様にしておいたからその程度で収まったのだと思った。

・間違っただけでも悪い事をしたと思っていない。従って謝る事の習慣がなく、自分に理由を付けて弁解する。原因が他に有った様に説明する。その様な習慣がい

つも面白おかしく感じられた。

・日本と習慣の違い

1 バレンタインデーは、男性が好きな女性に何かをプレゼントする日で、日本の様に義理チョコもホワイトデーもありません。本当に好きな人にプレゼントする日です。私は職場の技術の女性(9人)に真っ赤なバラの花を送りました。

2 自分の誕生日に、食事をご馳走するという習慣があります。普段お世話になっている人、技術部の人達に集まって頂き昼食時にパーティーをしました。

た。ちなみに私の場合は65人程度ですが、社長になると1600人に程度になります。

・最後にお別れ会とクリスマスパーティーがありました。その時の出来事ですが、技術のメンバーが私の為に徹夜で、技術部の部屋の一角にお別れ会の飾り付けパネルを作り、日本語の歌とダンスを一週間前の昼の休憩時間と6時以降の作業終了時に練習をしていました。

普段の昼の休憩時間は、昼寝をしています。お別れ会当日見事にダンスと日本語の歌を披露してくれました。

この様に自分を犠牲にしても、人の為に尽くしてくれる非常に暖かい心を持つ人々だとつくづく思いました。仕事を通じて人と人の繋がりの大切さをしみじみ感じたフィリピン人との交流でした。

この項終り



# 社友短信

◆上杉 強さん  
最終勤務地が大和郡山であったことから、本部所属になって、加入後に広島支部へ変更手続きされました。広島の方が友人・知己が多く生活期間も広島が長い、のが理由のようです。再就職先が、通信オーデイオ事業本部と取引があり、広島への出張も頻度が高そうなので社友会室には、時間の許す限り寄ってみたい、とのことでした。

◆小幡 友幸さん  
過日、奥さんを亡くしました。一緒に社友会の旅行に参加したり、早朝のウォーキングに夫婦で、しかも腕を組んで歩いていたのが、思い出されます。  
その小幡さんが、飯より好き、いや農業より好きなのが「釣り」。喪明を待たず出かけられもせず我慢の毎日（と勝手に邪推）。梅雨時はどうせ、釣れやさんのだから、ちよいと釣りの話題から離れていきましょうよ。

\*\*\*\*\*

## 編集後記

◇今年の梅雨は、梅雨らしい梅雨？で、豪雨があったりからっと晴れたり、こんなのを男性的梅雨と呼ぶ？  
◇そんな中で、こまぎれ的に編集して今第十九号を発行できることになりました。  
◇以外と、盛りだくさんで一部原稿をカットし、割愛し勝手に修正し、特に写真だけは鮮明に、を留意してこの程度が限界に思えます。  
◇次号は秋号で10月に発行です。テーマ自由で原稿をお寄せ下さい。  
(裕)

## 新会員紹介

平成13年4月1日～6月末までの入会

住所・電話番号は個人情報のため削除しています



高見 修身さん  
会員No.1910  
739-0001



安元 正明さん  
会員No.1914  
739-0145



上杉 強さん  
会員No.1918  
639-1108



鈴木 弘幸さん  
会員No.1957  
739-2125

## 社友会会員数の現況

平成13年6月26日現在

本部	1,264名
東京支部	208名
栃木支部	157名
広島支部	123名
(内 九州分会)	37名
合計	1,752名